

多摩市立図書館 出版年ごとの貸出比率

・開架図書の出版年ごとの貸出比率を算出するため以下の調査を行った。

1. 調査内容

- ・対象図書：分類記号（NDC）33（経済）の図書全て
- ・対象館：全館
- ・配架の条件：開架
- ・受入時期：2017/3/31 まで
- ・除外図書：地域資料，参考図書，禁帯資料，児童・ティーンズ，1990 年以前刊行の図書
- ・データ取得日：2018/4/16

2. 調査結果

- ・対象図書冊数は 4957 冊で，そのうち貸出は 386 冊だった（貸出比率平均 7.8%）。
- ・貸出比率が 10%を超えるのは出版年が 2013 年以降の図書。つまり出版から 5 年前後の図書。
- ・新しい図書ほどよく借りられる傾向がある。

図1 出版年ごとの貸出率

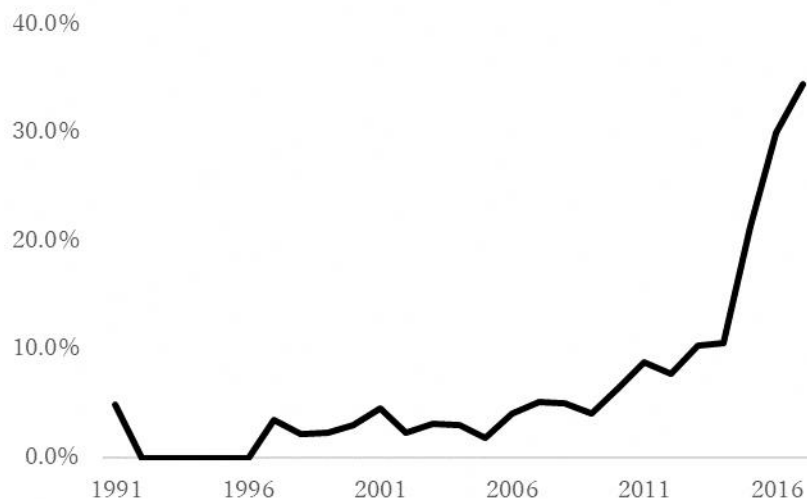
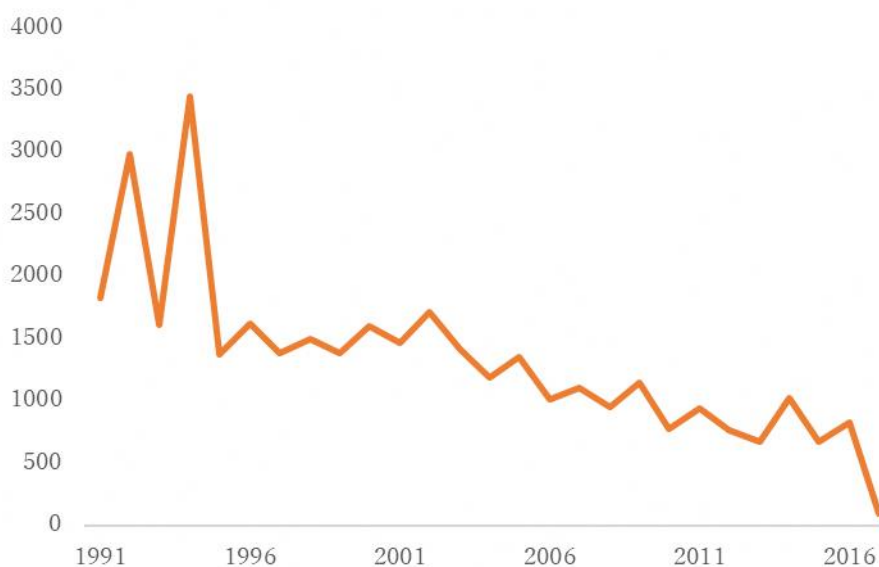


表1 出版年ごとの貸出率

出版年	所蔵冊数	貸出	貸出率	出版年	所蔵冊数	貸出	貸出率
1991	20	1	5.0%	2005	211	4	1.9%
1992	29	0	0.0%	2006	239	10	4.2%
1993	23	0	0.0%	2007	251	13	5.2%
1994	26	0	0.0%	2008	398	20	5.0%
1995	21	0	0.0%	2009	393	16	4.1%
1996	30	0	0.0%	2010	428	28	6.5%
1997	57	2	3.5%	2011	396	35	8.8%
1998	45	1	2.2%	2012	409	32	7.8%
1999	84	2	2.4%	2013	402	42	10.4%
2000	132	4	3.0%	2014	300	32	10.7%
2001	87	4	4.6%	2015	252	54	21.4%
2002	167	4	2.4%	2016	207	62	30.0%
2003	157	5	3.2%	2017	29	10	34.5%
2004	164	5	3.0%	合計	4957	386	7.8%

図2 4月16日時点での最終貸出日からの平均日数（出版年ごと）



3. 得られた示唆

- ・新たな本館の基本的役割として、専門的で、幅広い蔵書を、長期間、蓄積し提供することが求められる。
- ・市民の利用は比較的新しい図書に集中する。
- ・資料費が不十分だと、新たな本館では開架書棚に古い図書ばかりがなることが危惧される。